

# 川北機械株式会社

「納期が集中して仕事をお断りする月もあるほどです」。福岡県直方市で機械加工業を営む川北機械の後藤 順一社長は、こう苦笑いしながら頭をかく。直方工業団地近くにある従業員9人の中小企業だが、取引先は三菱重工業の長崎・下関両造船所など大手が並ぶ。3次元CAD/CAMや高機能マシニングセンター（MC）を使った、20マイクロメートルレベルの加工精度は他の追随を許さない。福岡県の経営革新計画承認により2016年には第2工場が完成、設備を導入した。また（公財）福岡県中小企業振興センターのアドバイスを受けて商談会に参加するなど、業務内容の拡大が続いている。

## 沿革・企業の強み

後藤社長の義父で創業者の中川 日出之氏が、1972年（昭47）に射出成型精密金型の製作を始めた。当初はメイホー（直方市）向けに飲料用ペットボトル型を製造していた。

87年に直方市で初めて縦型MCを導入して風向きが変わった。三菱重工業下関造船所から繊維強化プラスチック（FRP）など複合材料の加工依頼が舞い込んだのだ。樹脂型だけではなかなか売上げが伸びないと悩んでいた中川社長や現後藤社長は、新規事業として複合材部品や治具製作を始めた。

91年には下関に続いて長崎造船所から造船関連部品の製作依頼があり、三菱重工業からの受注が相次ぐようになる。07年には航空機関連治具の製作を始めるなど、少数精鋭の技術者集団は県内外でその名を知られるようになった。

だが三菱重工業との取引が拡大する中で品質マネジメント規格「ISO9001」の認証取得が必須となった。「やり方もノウハウもない」と後藤社長は地元商工会議所らに相談したところ、（公財）



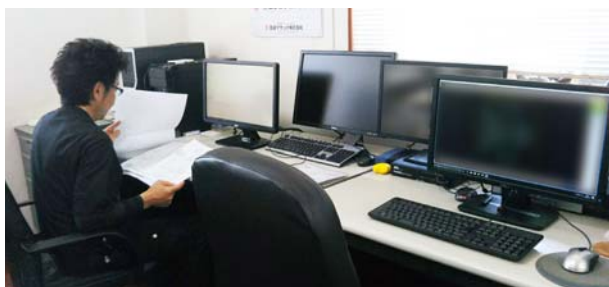
社内では活発な議論も行われる



若さと明るさで地域をけん引する

福岡県中小企業振興センターを紹介され取得に結びついた。その後は経営革新計画承認に向けてアドバイスを受けるほか、17年6月に北九州市で開かれた「製造技術マッチングフェア（（公財）北九州観光コンベンション協会主催）」にも参加、顧客獲得に成功した。

17年1月には2度目の経営革新計画承認を得た。今秋には大型MCに対応する3次元測定機を導入予定で、さらに加工精度を向上させる決意だ。



CAD/CAMも効果的に活用している



最新鋭のマシニングセンターがさまざまな加工をこなしていく

お問い合わせ 情報取引推進課 TEL：092-622-6680

## 社長メッセージ



後藤 順一 社長

小さな会社だが真面目にコツコツ取り組む姿勢が評価されている。技術者も皆若く、前向きだ。(公財)福岡県中小企業振興センターにはいろいろなアドバイスを頂いており、経営革新計画承認で多く

の設備投資を実現できた。レーザーマーカは付加価値向上に役立つし、秋に導入する3次元測定機はさらなる品質向上につながる。「あらゆるものを確実に削る」をテーマに、これからもモノづくりの道を究めていきたいと考えている。現状に満足せず、将来は航空機分野での部品加工や自社製品開発にも挑戦したい。

## 企業概要

企業名	川北機械株式会社
所在地	福岡県直方市上頓野4772
TEL	0949-26-2050
FAX	0949-26-3228
Eメール	j.goto@kawakita-k.co.jp
URL	<a href="http://www.kawakita-k.co.jp">http://www.kawakita-k.co.jp</a>



2016年には新工場が完成した

## 平成29年度 中小企業会計啓発・普及セミナーのご案内 基本から分かる会計講座

### ◆開催概要

受講対象	中小企業の経営者、財務担当者等
開催日時	基本&応用編 平成29年9月14日(木) 基本編 10:00~12:00 応用編 13:00~16:00
会場	福岡県中小企業振興センタービル5階501会議室
定員	50名
費用	無料(教材費含む)
申し込み・問い合わせ先	公益財団法人 福岡県中小企業振興センター 担当:長(ちょう) TEL:092-622-6680、FAX:092-624-3300
申し込み締切り	平成29年8月28日(月)

### ◆講師紹介

アジア太平洋マネジメント 代表 青木 道生 氏  
金融機関出身の経営コンサルタントとして中小企業の財務政策の立案を専門分野とする。  
中小企業大学校等、講義歴多数。